

教職員情報

理学部附属 植物園のいきものたち 第22回



▲写真1 チャスジハエトリ

今回はハエトリグモを2種紹介する。ハエトリグモ類は網を張らずに歩き回って獲物を捕食するタイプのクモで、造網性のクモと違って目がよく発達している。クモ類は一般に8個の単眼を持つが、その並び方や発達の具合にはクモの分類群ごとに特徴がある。ハエトリグモ類は前中眼という正面の2個の目が特によく発達しているのが特徴である。

写真1はチャスジハエトリの幼体を正面から撮影したもので、大きな前中眼が印象的である。しかし実物は体長5mm程度の小さな虫なのでなかなかその目をこのようにじっくり鑑賞することは難しい。チャスジハエトリは家屋内でごく普通に見られるハエトリグモであるが、屋外の灌木の葉上などでもよく観察される。

写真2はアオオビハエトリのメスである。青みを帯びた腹部に白帯があるのが本種の特徴である。このように丸々太った腹部はメスの特徴で、ハエトリグモ類のオスがこのように肥え太ることはない。アオオビハエトリはアリ類を好んで捕食することが知られている。また前足を大きく振り上げるという特徴あるディスプレイをする習性もある。この行動の意味はまだよく分かっていないが、幼体も行うので求愛ディスプレイではないらしい。

(写真・解説 樋上正美)



▲写真2 アオオビハエトリ